

水を揚げる - 沖新田と政田民俗資料館収蔵資料展 -

平成19年3月6日(火)～7月29日(日)

毎週月曜日休館。月曜日が祝休日の場合は開館し、翌日休館

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

岡山市デジタルミュージアム(岡山駅西口すぐ)
5階ロビー(5階ロビーへの入場は無料です)



岡山平野のほぼ中央部、児島湾岸を取り巻く低平な水田景観の広がる穀倉地帯は、そのほとんどが近世以降の干潟干拓によって開かれた新田地帯です。なかでも、近世最大規模となる沖新田は、岡山藩直営事業として1692(元禄5)年に誕生した水田です。



この企画展では、床一面の沖新田の巨大航空写真と揚水ポンプ・石油発動機・足踏み水車等の岡山市重要有形民俗文化財を含む政田民俗資料館収蔵資料により、干潟干拓地がかつて行われていた「揚水」に焦点を当てた展示を行います。

(関連行事) 講演会 & ギャラリートーク

- ・日時：平成19年4月14日(土) 13:30～15:30
- ・受付：当日13:00～ 5階ロビーにて先着80名(事前申込み不要)
- ・参加費 300円(資料、常設展入場を含む)
- ・演題/講師：「沖新田あれこれ」/安倉清博氏(政田民俗資料館職員)

5階ロビーと常設展示室で展示品を前に見どころを説明し、その後、講義室で江戸時代の絵図や戦前戦後の古写真等を見ながら、干拓地の歴史や暮らしについて話します。

(主催・お問い合わせ)

岡山市駅元町15-1(岡山駅西口すぐ) 岡山市デジタルミュージアム(電話086-898-3000)